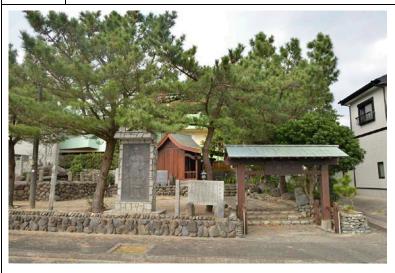
m004002

[安房区]如竹神社



m004002001)如竹神社遠景



m004002002 如竹神社遠景



m004002005 如竹の碑裏側



m004002003 如竹の碑



m004002006 構内の石碑



m004002004 建立者名



m004002007 構内の石碑

概要 適用

#### 【概要】

御神体 木造のお社の中に墓碑が祭られている。

祭 神 泊如竹

例大祭 陰暦1月17日{生誕の日}

陰暦5月25日{命日}

#### その他情報

島民から「屋久島聖人」としてあがめられた泊如竹は江戸時代前期の人物 {永禄一二年(1569) 〈翌年とする説もある〉 ~明暦元年(1655) }。安房の船大工の出で、その当時国内有数の儒学僧、屋久島における木材伐採開始のきっかけとなったともされ、逸話は多い。日蓮宗宗僧号を養善院日章、顧天庵とも言い、儒号を如竹散人とする。

その如竹が「我死なば、此処に石塔を建つべし。我鎮守となり村の災殃滅せん」と臨終に残した言葉による創始とされる。

命日の陰暦5月25日に献舞「如竹踊り」が奉納される。

## 【位置的情報】

屋久島第二の繁華街ともいえる安房の浜町で、コンクリートの建物群を背に、アスファルトの道路を前に挟んで安房川を望む位置に、ぽっかり切り取られたように砂地に松の生えた一角が残されている。これがかつてウミガメの産卵も見られたというこの地の原風景の一部なのという事がよく分かる景色となっている。

## 【文献・資料】

文献① 屋久島郷土誌第三巻 P360 前後

文献② 境内の石碑 その他



m004002008 構内の石碑裏



m004002009 如竹廟



m004002010 近く橋下の壁画

# 【写真】

m004002001 メイン如竹神社遠景

m004002002 如竹神社遠景

m004002003 大正14年建立の如竹の碑

m004002004 建立者名

m004002005 如竹の碑裏側

m004002006 構内の石碑

m004002007 構内の石碑

m004002008 構内の石碑裏

m004002009 如竹廟

m004002010 近くの安房大橋橋下の壁画